

令和6年3月26日

学校法人 榎園学園
鹿児島環境・情報専門学校
校長 榎園克寿 殿

学校関係者評価委員会

評価委員

船田 孝系



評価委員

瀬田 和男



学校関係者評価 報告書

令和5年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

- 1 評価日時 令和6年3月26日(土) 午前10時00分～12時00分
- 2 評価場所 鹿児島市田上3丁目4-8 鹿児島環境・情報専門学校
- 3 評価内容
 - 1 学校内容・学生状況
 - (1) 目標の何%かは具現化されている。例えば学生の資格取得は予想以上の成果となって嬉しい限りである。
 - (2) 財務状況について、なんとか黒字になるよう、まず第1に学生数を増やしたいものである。
 - (3) 資格については、卒業生がすべて取得しており教育が充実していると思われる。
 - (4) 赤字解消のため、学校のPR活動への工夫がもう少し必要と思われる。
 - 2 卒業研究発表会、その他
 - (1) 発表の仕方や態度がうまくいっている者もあり喜ばしい。Web等から上手に資料集めがなされているようである。
 - (2) テーマに「えーなんだ」と思われるものもあり。こんな事に着目しているのだと、新しいものを感じ取れた。
 - (3) テーマの着眼点、問題提起の素晴らしい方がおり、学校の就業状況が良いことがわかりました。
 - (4) テーマが大きく、発表内容が伝わりにくい方がいました。プレゼン力を上げる授業が必要。
 - 3 自己評価・学生アンケート
 - (1) 先生方の当校に対する危機感・責任感の表れか、全体として評価の値が上昇している。良い事だと思う。
 - (2) 授業の理解度にバラツキが見られます。もう少し説明・話し方に工夫が必要です。
 - 4 全般、総評
 - (1) コロナによる影響により、学生募集活動は十分になされなかった事もあるが、今年はなんとか増えるように努力すべきである。
 - (2) 新しいものへの探求心が見られるようなのをテーマとして選定しており、今の若者も捨てたものではないかと感じた。
 - (3) 発表会、授業評価アンケート、資格取得などから、生徒はよく勉強されていると思われる。
 - (4) 学校のPR活動を工夫し、生徒数が増え赤字解消が望まれる。